

塩田平のため池群

(しおただいらのためいけぐん)



全景



舌喰池の遊歩道と芝ザクラ

ため池の概要

ため池の所在地

長野県上田市

ため池の特徴

塩田平は年間降水量900mmと全国有数の寡雨地域で、江戸時代から数多くのため池が造られました。

その数は大小合わせて100ヶ所にも及び、塩田3万石と言われる900haの水田に今も豊かな水をもたらし、地域の農業の礎を担っています。

塩田平には、江戸初期から伝わる民話がある池、白鳥の飛来地となっている池、マダラヤンマの生息地となっている池、蓮や桜の花の名所となっている池など個性豊かな池が数多くあり、塩田平の美しい自然に抱かれて豊かな景観を創り出し、地域の人々の日常的な水辺、親水空間として親しまれています。

この地域には、ため池にまつわる民話が数多く残されており、民話に関する催しが開かれています。

「舌喰池」という池には、「昔、池が造られた頃、土手から水が漏れて十分に水をためることが出来ず、土手に「人柱」をいれて改修することになり、くじ引きで美しい娘が「人柱」に選ばれた。娘は、当日前夜に身の不運を嘆いて舌を喰いきり、池に身を投げて死んでしまった」という悲しい民話が受け継がれています。

関連情報

塩田の里交流館(愛称とっこ館) お問い合わせ先(TEL)0268 - 39 - 7250